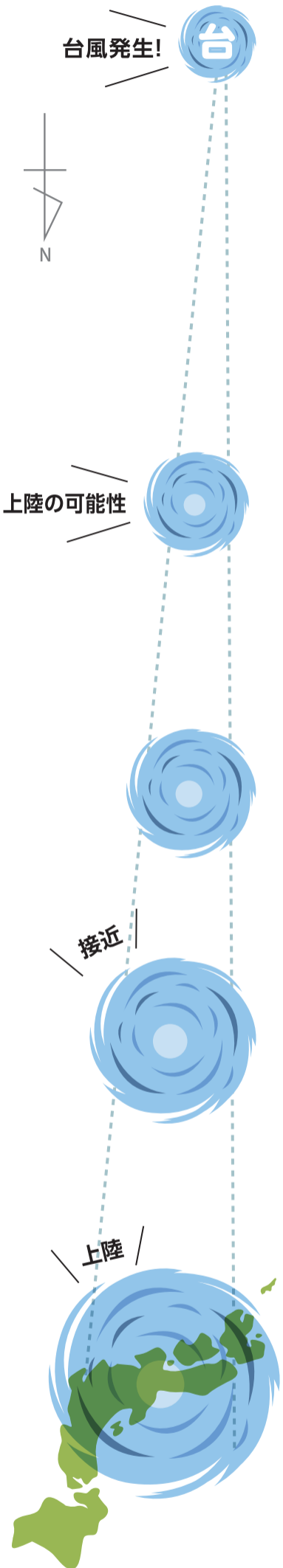


台風に備えて

自分や家族を守るための防災タイムライン

タイムラインとは、災害が発生することを前提として、起こりうる状況を想定し、事前にとるべき行動を時系列で整理したものです。台風接近時の事前準備や災害の危険性が高まってきたときの対応の目安として確認しておきましょう。



防災タイムライン

72時間前 3日前	台風の進路を確認 <ul style="list-style-type: none"> ●避難する場合の避難先を確保 ・親類・知人宅などへ避難することができるかをあらかじめ確認しておく。 ●備蓄の確認・準備 ・在宅避難に備える。→非常備蓄品(7日間程度が目安) ・避難するときに備える。→非常持出品(3日間程度が目安) 	
48時間前 2日前	台風の進路・勢力を確認 <ul style="list-style-type: none"> ●避難する場合の避難先を検討 ・在宅避難するか、親類・知人宅などへ避難するかを決めておく。 ●停電への備え ・電池の確保や充電器の動作確認をしておく。 ・懐中電灯や携帯ラジオを準備しておく。 ●家周りの点検 ・側溝や排水溝を掃除し、水の流れをスムーズにしておく。 	
24時間前 1日前	暴風域に入る時間を確認 <ul style="list-style-type: none"> ●断水に備える ・浴槽やバケツなどに水を貯めておく。 ●家周りの点検 ・物干し竿はおろしておく。・植木鉢は屋内に入れておく。 ・窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る。 	
12時間前	気象情報・河川情報・避難情報の収集 <ul style="list-style-type: none"> ●避難先への避難準備 ・避難先が親類・知人宅の場合は避難をはじめ。 ●家周りや備蓄の最終点検 	
6時間前	暴風や大雨に備え不急の外出は控える <ul style="list-style-type: none"> ●避難先への避難完了 ・避難先(自宅、親類・知人宅)からの外出は自粛する。 	
最接近 ～通過	安全な場所で避難 <ul style="list-style-type: none"> ●ライフラインの途絶に備える ・懐中電灯や携帯電話などをすぐ使えるところに置いておく。 	



河川氾濫の危険性が高まったとき

最新の気象情報・河川情報・避難情報の収集

- 浸水の可能性がある場所からの避難
- ・避難情報「警戒レベル3」以上が発令された場合に開設される災害時避難所(最寄りの小学校など)か、水害時避難ビルなどの浸水のおそれがない高い建物へ避難する。

